

年 組 番)

第三段落へ李徴の告白(前半 (一五三・一〇〇～一五四・一〇)……忍びない。)

虎に変身した過程と心境

A 虎に変身した過程

① 今から一年程前、戸外で誰かが我が名を呼んでいる。……覚えず、自分は声を追うて走り出した。

* 李徴を呼んだ声の主は誰か、考えて書こう。(複数考えてみよう。)

↓

② 無我夢中で駆けて……谷川に臨んで姿を写してみると、既に虎になっていた。

B 虎に変身した時の心境

① 初め()

←

② 次に()

←

③ どうしても夢でないかと悟らねばならなかった時、()

←

④ そうして()

しかし、なぜこんなことになったのだろう。

その理由(虎になった理由その1・作者の運命観)

理由も分からずに

⑤ すぐに)



)

⑥ しかし、目の前を一匹の兔が駆け過ぎるのを見たときに、自分の中の人間はたちまち姿を消した。



⑦ 虎としての最初の経験―再び自分の中の人間が目を覚ました時、自分の口は兔の血にまみれ、あたりには兔の毛が散らばっていた。

* 自分の中の人間 || 人間の (

性)



虎の本能

*メモ